

日興アフリカ株式ファンド

ファンドの概要

設定日 2008年9月30日
 償還日 2018年10月10日
 決算日 原則10月10日
 収益分配 決算日毎

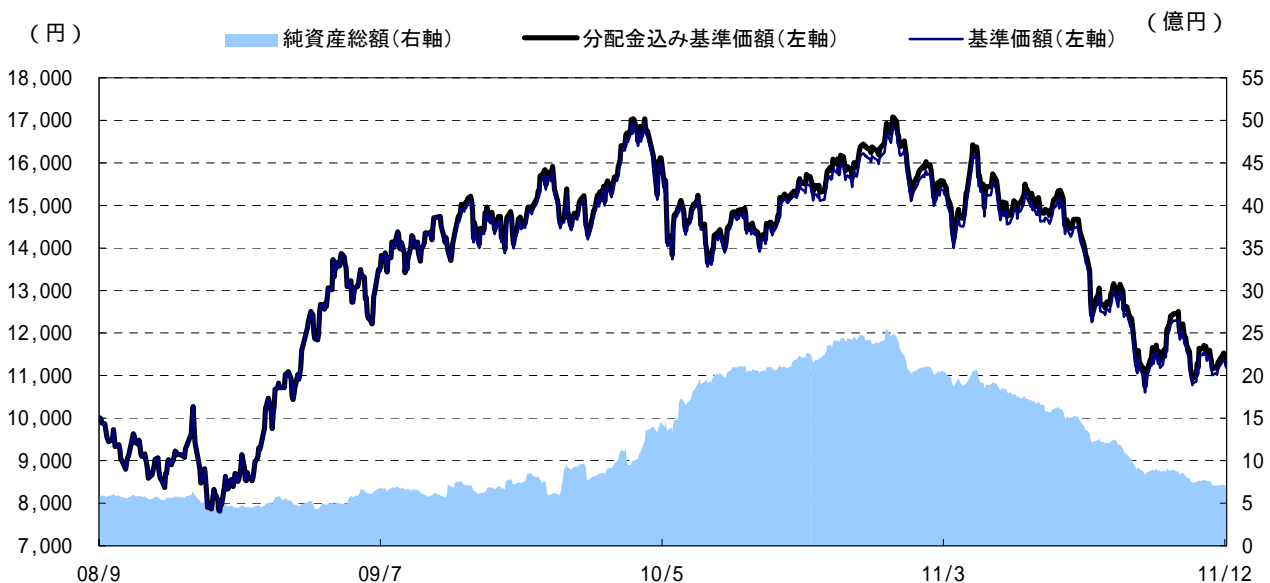
ファンドの特色

1. 高い経済成長が期待されるアフリカ諸国の株式に幅広く投資を行ないます。
2. 投資国・テーマ別の分析と個別企業の分析によって銘柄を厳選し、中長期的な信託財産の成長をめざします。
3. 実質的な運用は、アフリカ株式投資で実績のある スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメントが行ないます。

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移グラフ >



分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。基準価額は、信託報酬（年率2.07675%（税抜2.015%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 11,176円

純資産総額 : 7.01億円

< 基準価額の騰落率 >

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
1.23%	0.49%	-24.43%	-30.67%	22.02%	13.26%

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

< 資産構成比率 >

JB アフリカン・エクイティ・ファンド	98.5%
マネー・アセット・マザーファンド	0.5%
その他	1.0%

比率は当ファンドの純資産総額比です。直近の追加設定が計理処理上、純資産総額に反映されないことなどにより「JB アフリカン・エクイティ・ファンド」の比率が100%超となり、「その他」の比率がマイナスになることがあります。

< 分配金実績（税引前） >

09・10・13	10・10・12	11・10・11		
100円	100円	0円		

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

J B アフリカン・エクイティ・ファンドのポートフォリオの内容

スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメントより提供された情報です。
比率は当外国投資信託の数値です。

< 資産構成比 >

株式	99.2%
現金その他	0.8%

現地株式市場の取引慣行等の違い
や計理処理等により「株式」の比
率が100%超となり、「現金その他」
の比率がマイナスになることがあ
ります。

< 株式組入上位10銘柄 > (銘柄数 76)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	First Quantum Minerals Ltd	ザンビア	素材	4.8%
2	African Minerals Ltd	シエラレオネ	素材	4.7%
3	MTN Group Ltd	南アフリカ	通信	4.3%
4	Orascom Construction Industries	エジプト	製造業	4.0%
5	Sasol Ltd	南アフリカ	エネルギー	3.7%
6	IAMGOLD Corp	ガーナ	素材	3.6%
7	Randgold Resources Ltd	マリ	素材	3.3%
8	Standard Bank Group Ltd/South Africa	南アフリカ	金融	3.2%
9	Attijariwafa Bank	モロッコ	金融	3.0%
10	Kenmare Resources PLC	モザンビーク	素材	2.9%

< 株式組入上位10カ国 >

	国名	比率
1	南アフリカ	35.2%
2	ナイジェリア	9.8%
3	エジプト	9.3%
4	チュニジア	8.7%
5	モロッコ	7.2%
6	ガーナ	6.3%
7	ザンビア	4.8%
8	シエラレオネ	4.7%
9	ケニア	4.1%
10	マリ	3.3%

< 株式通貨別上位10通貨 >

	通貨	比率
1	南アフリカランド	31.1%
2	イギリスポンド	20.6%
3	ナイジェリアナイラ	9.1%
4	エジプトポンド	9.0%
5	チュニジアディナール	8.7%
6	カナダドル	8.4%
7	モロッコディルハム	7.2%
8	ケニアシリング	4.1%
9	アメリカドル	1.0%
10		

< 株式組入上位5業種 >

	業種	比率
1	素材	34.8%
2	金融	28.7%
3	製造業	9.3%
4	エネルギー	8.5%
5	通信	7.3%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

運用の概況

厳しいマクロ経済環境にもかかわらず、12月の世界の株式市場は比較的底堅く推移しました。但し、相場を牽引したのは生活必需品やヘルスケアといったディフェンシブ（防衛的）なセクターでした。

南アフリカの株式市場も、先進諸国の株式市場にほぼ追随する値動きとなりました。ただ月末に掛けての戻りが鈍く、月間では小幅な値下がりとなりました。一方、通貨、南アフリカランドの対円相場は、前月比で見るとほぼ横ばいで推移しました。

経済指標でみると、製造業生産で陰りが見える一方、小売売上高は今月も概ね増加トレンドが続いています。また政府筋は、南アフリカでは失業者が増加するリスクが顕在化しており、同リスクを軽減するために雇用政策を強化する必要があると述べています。

エジプトの株式市場は、下落しました。また通貨、エジプトポンドも対円で下落しました。

主要アフリカ市場の中で12月に大きく下落した市場はエジプトだけで、約8%の下落となりました。エジプトでは抗議行動が連続して行われ、これを嫌気してここ数ヶ月間に地元の投資家の間で売りが先行したと捉えています。また税収の落ち込みもあって、財政赤字に注目が集まる場面もありました。

ナイジェリア株式市場は上昇しました。一方で、ナイジェリアナイラは対円で下落しました。

原油価格が底堅い推移だったことに加え、先進諸国の株式市場や南アフリカ株式市場などに対して出遅れていたことなどから、月末に掛けて比較的堅調な値動きとなりました。

2011年最後の月である12月は、大半のアフリカ市場で多少の持ち直しの兆候が見られ、当ファンドの基準価額は値上がりしました。

ファンドの対象市場の中では、サハラ砂漠以南の地域の市場が相対的に好調なパフォーマンスを示しました。11月の反動もあってナイジェリアとケニアが好調なパフォーマンスを示し、またモロッコやチュニジアも引き続き底堅い値動きとなりました。

今後の見通しと運用方針

1月も数々の政治的日程が予定されているエジプト情勢は、特に注意深く見守って行きます。

アフリカ市場の長期的な成長見通しは、従来までと変わらず依然として底堅いと予想する一方、北アフリカ・中東地域での政情不安によって短期的には価格変動の激しい展開が続く可能性があり、注意深くファンド運営をして参ります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 海外 / 株式
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日がルクセンブルクの銀行休業日、ヨハネスブルグ証券取引所の休業日、エジプト取引所の休業日（毎週金曜日はエジプト取引所の休業日となります。）のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 信託期間 : 2018年10月10日まで（2008年9月30日設定）
 決算日 : 毎年10月10日（休業日の場合は翌営業日）
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
 ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
 ご換金不可日 : 換金請求日がルクセンブルクの銀行休業日、ヨハネスブルグ証券取引所の休業日、エジプト取引所の休業日（毎週金曜日はエジプト取引所の休業日となります。）のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
 お申込・ご換金制限 : 受益者保護の観点から運用上の支障をきたさないようにするため、取得・換金申込み総額について委託会社が多額と判断した場合、受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
 <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>
 お申込手数料 : お申込手数料率は、3.675%（税抜3.5%）を上限として販売会社が定める率とします。分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 換金手数料 : ありません。
 信託財産留保額 : ありません。
 <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>
 信託報酬 : 純資産総額に対して年率2.07675%（税抜2.015%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.29675%（税抜1.235%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.78%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
 その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : 中央三井アセット信託銀行株式会社
 監督当局の認可等を前提として合併し、2012年4月1日付で三井住友信託銀行株式会社となる予定です。（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 【ホームページ】<http://www.nikkoam.com/>
 【コールセンター】0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

- 当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
- したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

為替変動リスク

・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。

・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

<アフリカ株式におけるリスクおよび留意点>

・ファンドの投資対象国においては、政府当局が様々な規制を一時的に導入することがあるほか、投資対象株式が取引されている市場、証券決済の仕組み、海外からの送金規制、法規制などに関する制度が先進国と異なる場合があることから、運用上予期しない制約を受ける可能性があります。特に証券決済の仕組みがDVP取引（証券取引において証券の受渡しと資金決済を同時に行なう取引）を導入していない場合、予定された期日に取引相手先から取引対象資産の受渡しがされない場合があります。

・ファンドは、実質的な株式の組入れが高位となるよう投資を行なうことを基本としますが、ファンドの投資対象国によっては、投資のための口座開設にかかる認可がおりるまでに時間を要する国もあることから、当該投資対象国に上場している株式への投資が若干遅れる可能性があり、ファンドの投資方針に従った運用ができない場合があります。

ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

・当資料は、投資家の皆様に「日興アフリカ株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号				
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号				
株式会社 ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号				
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号				